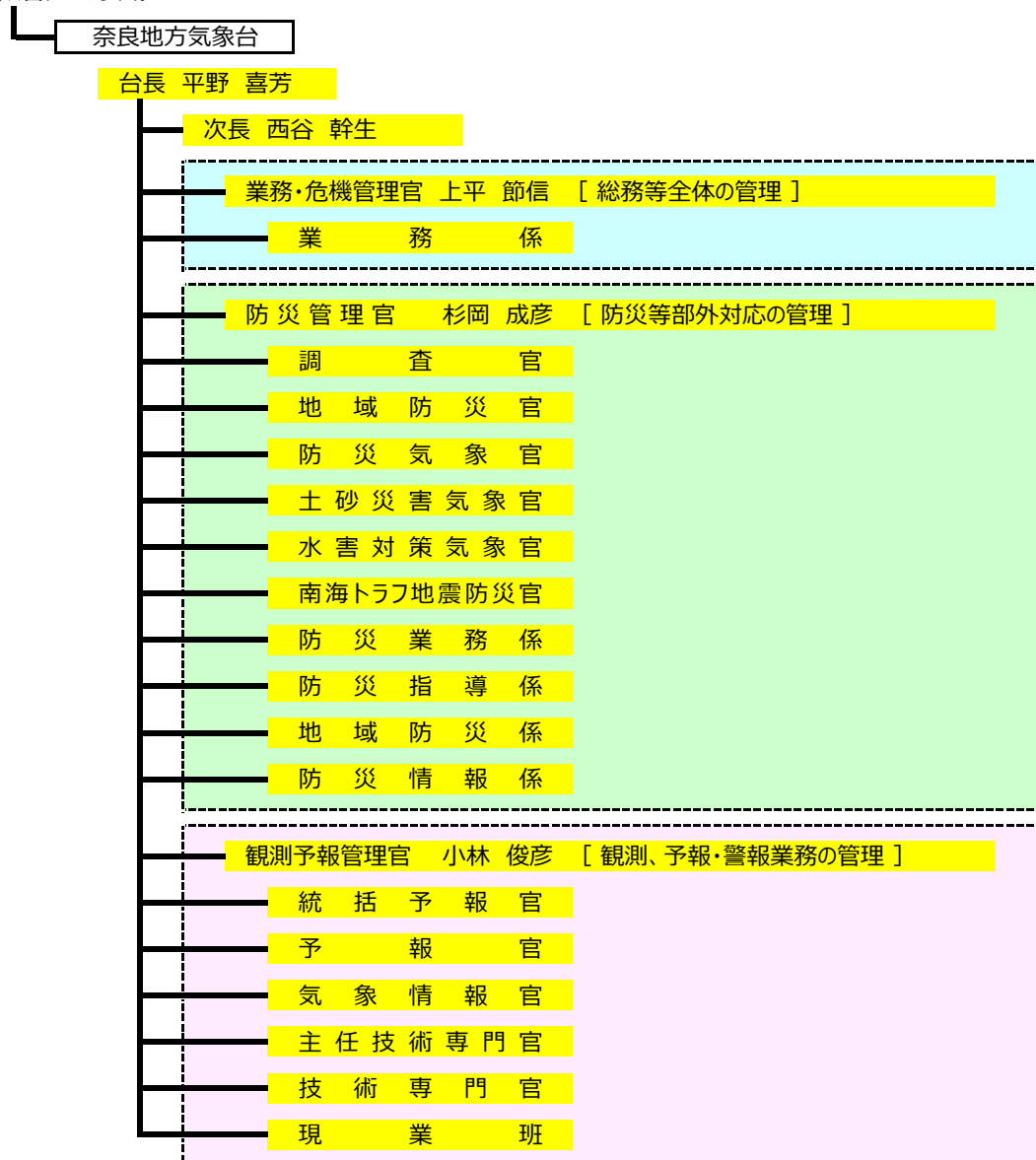


【奈良地方気象台の沿革】

明治 30 年 1 月 1 日	奈良県立八木測候所（2等測候所）として設立
昭和 14 年 11 月 1 日	国営移管により八木測候所と改称
昭和 17 年 3 月 30 日	橿原測候所と改称
昭和 18 年 11 月 1 日	文部省より運輸通信省に移管
昭和 20 年 5 月 18 日	運輸通信省が改組され運輸省所管となる
昭和 28 年 4 月 1 日	橿原市から奈良市（半田開町）に移転し奈良測候所と名称変更
昭和 32 年 9 月 1 日	機構改革により地方気象台に昇格
平成 13 年 1 月 6 日	運輸省は国土交通省となる
平成 25 年 10 月 1 日	組織改編により課制廃止となる
平成 29 年 3 月 9 日	奈良市半田開町から奈良市西紀寺町に移転

【奈良地方気象台の組織及び業務実施体制図】（令和 4 年 4 月 1 日現在）

（大阪管区気象台）



※通常は、点線で囲んだ上記 3 つのグループに分かれて業務を行っている。